

(2 枚中 1 枚目)
平成 2 0 年 2 月 2 8 日

浜松市議会議長 酒井基寿 様

浜松市議会議員 西川公一郎 印

代 表 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 5 9 条第 2 項の規定により通告します。

記

質 問 要 旨	内 容 (詳細に記入)	答 弁 を 求 め よ う と す る 者 の 職 名
1 . 創 造 都 市 に 向 け て (1) 多 文 化 都 市 政 策 に つ い て	(1)多文化共生条例を制定し、外国人市民のための政策を積極的に展開していく法的根拠を明文化する必要があると考えるが、見解を伺う。 (2)多数の浜松市民と外国人が、お互いの文化に容易に触れあい、草の根レベルでの交流が生まれる仕組み作りが必要と考えるが、見解を伺う。	市長
(2) 担 い 手 の 育 成 に つ い て	(1)商業や製造業の創業支援があるように、文化創造拠点を整備し、浜松の若手アーティストやクリエイターを育成できないか伺う (2)Arts in Education という、アーティストを学校などに派遣し、先生と協力しながらワークショップ型の音楽や美術、工作、演劇やダンスなどの授業を実施する取り組みが注目されている。各区の文化施設などで、小・中学生を対象としてこのような取り組みが行えないか伺う。	市長
2 . 公 有 財 産 の 有 効 活 用 に つ い て	(1)公有資産台帳をデータベース化し公表するとともに、財務諸表に裏打ちされた、資産の売却や有効活用の、基準や方針、計画を公表できないか伺う。 (2)施設の活用については、利用目的によって、政策的な優先順位がつけられないか伺う。 (3)資産の売却については、地域住民からの要望を含めた、跡地利用の規制や基準を定められないか伺う。	市長
3 . 電 子 市 役 所 に つ い て	(1)CIO 機能の強化として、各課に対し、各種システムの導入や管理の「IT ガバナンス」がどの程度発揮されているのか、また、レガシー改革がどの程度進展しているのか伺う。	市長

質問順位	派 名	議席番号

質 問 要 旨	内 容 (詳細に記入)	答弁を求めようとする者の職名
	<p>(2)近い将来、浜松市役所等の各種手続が電子化されると、市民の利便性がどのように向上するのか、「(仮称)浜松電子市役所未来図」などで、わかりやすく示すことができないか伺う。</p> <p>(3)地図情報システム(GIS)の運用が始まったが、今後、どのような情報を付加し公開していくのか伺う。</p>	市長
4 . (仮称)総合相談アドバイザーの配置について	多重債務者や、税金や保険料、公共料金などが払えないと相談に来る人と、1対1で接し、横断的な対応で問題解決を手伝う、「(仮称)総合相談アドバイザー」を各区の窓口に配置できないか伺う。	市長
5 . 成年後見制度について	<p>(1)区役所で、相談体制を整えられないか伺う。</p> <p>(2)市長申し立て制度の認識と、今後の考え方について伺う。</p> <p>(3)行政が中心となり、社会福祉協議会と連携しながら、「成年後見センター」などの拠点を整備し、家庭裁判所、弁護士会、司法書士会とネットワークを組み、「市民後見人」の養成に取りかかれぬいか伺う。</p>	市長